

# オオダイセマダラコガネの京都府における採集記録とその分布

黒田悠三<sup>1)</sup>・松本 武<sup>2)</sup>

1) 〒 624-0851 京都府舞鶴市大内野町 47-3

2) 〒 532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-20-102

## Distributional Records of *Exomala ohdaiensis* (Sawada, 1941) from Kyoto Prefecture

Yuzo KURODA and Takeshi MATSUMOTO

オオダイセマダラコガネ *Exomala ohdaiensis* (Sawada, 1941) は、コガネムシ科に属する体長 10～14mm の日本特産種で、藤岡・酒井 (2007) によれば、山地性の種で、吹き上げでの採集が多く、下草にとまっているものも見つかるほか、リョウブやノリウツギへの訪花例もある、とされている。大台ヶ原山 (奈良県と三重県の県境) を模式産地とし、主に西日本の低山地から標高 1,000 m 超の中山地帯に産するが、個体数はどこでもあまり多くはない。本種は紀伊半島では奈良県南部や三重県南部と北部の山岳地帯に産することは古くからよく知られているが、筆者の一人松本が大阪市立自然史博物館の標本を調査した限りにおいては近畿地方の中北部や大阪平野とその周辺では非常に稀なものようである。特に京都府では本種の採集例はまったく報告されてこなかった。ただ、京都府の近隣の地域では福井県池田町冠山が産地として報告されている (福井県県民生活部自然保護課, 1999)。さらに東の地域で中部地方においては最近、長野県木曾郡大桑村での採集報告がなされたが (斉藤, 2013)、本種は東へ行くほどさらに産地も個体数も少なくなるようである。

筆者の一人黒田は、これまで京都府では報告のなかった本種を綾部市で採集しており、松本は、加佐郡大江町 (現在福知山市大江町) や南丹市園部町産の標本を確認しているのので、併せて京都府初記録として以下に報告する。

### 記録

2♀, 綾部市睦寄町君尾山, 2016年7月15日, 黒田悠三採集・保管 (図1)。

1♀, 同上, 2016年7月16日, 黒田悠三採集・保管。

7月15日11時30分頃 (雨天), 君尾山中腹 (標高約500m付近) のハリギリの花のスイーピングにて最初の1個体を採集, 引き続き近くのエゴノキの葉のルッキングにより2個体目を採集した。さらに翌16日午後2時頃 (曇り時々晴れ), 前日と同所付近のリョウブの花のスイーピングにより1個体を採集した。

1♂, 加佐郡大江町皇大神社, 1999年7月11日, 春沢圭太郎採集, 大阪市立自然史博物館蔵 (図2)。

1♀, 南丹市園部町大河内深山南東斜面, 2016年7月15日, 斉藤琢巳採集・保管 (図3)。

松本が関西甲虫談話会例会の折に出席者に本種の京都府における採集例がないか尋ねたところ、後日齋藤琢巳氏から連絡を受け、標本を送付していただき確認した。

以上の確認地点を図4に示した。なお、以上の標本はすべて松本が同定した。

### 考察

甲虫の中でも比較的大型で目立つコガネムシの中から京都府初記録となるものが採集されたことは大変興味深い。従来、日本三大昆虫宝庫 (採集地) の一つとされてきた京都市貴船や自然林の残る南丹市



図1-3. 京都府産オオダイセマダラコガネ, 1, ♀, 綾部市君尾山産; 2, ♂, 加佐郡 (現福知山市) 大江町皇大神社産; 3, ♀, 南丹市園部町深山産。



図4. 京都府内におけるオオダイセマダラコガネの分布確認地点(▲:本種の成虫採集地点)。(白地図は「テクノコ白地図イラスト: <http://technocco.jp/>」を改変して使用)。

の京都大学フィールド科学教育研究センター森林ステーション芦生研究林でさえも採集されなかった本種が、府北部の綾部市や福知山市、中部の園部町で採集されたことは意外であった。これまで京都府の中でも南部の地域は古くから多くの採集者によって調査されてきているが、発見されなかった。今回新たに発見された南丹市園部町は、採集者が比較的多く訪れている京都大学の演習林がある芦生と地理的に大きく離れているわけではない。

本種が今まで京都府で記録されなかった理由として、次の4点が考えられる。第一に、本種は奈良県や三重県の山岳地帯では古くからよく知られていたが、本来稀種で京都府では棲息実態が全く不明であった。そのため分布記録が顧みられることもなく、あえて京都府で本種を目的として採集がなされると

ということがなかった可能性がある。第二に、京都府南部には実際に棲息していないと考えられること。第三に、本種はセマダラコガネ *Exomala orientalis* (Waterhouse, 1875) に酷似しており、同定に不慣れた方には正確に同定できず見過ごされてきた可能性があること。第四に、上記の3箇所の採集地は今まで採集者が訪れる機会が少なく、調査があまり行われてこなかったことである。

今回の新たな棲息地の発見と大阪市立自然史博物館所蔵の標本調査により、本種は京都府の中北部地域には棲息していることを確認できたが、一方、南部には棲息していない可能性が高いと思われた。今回の発見によって近畿地方、特に北・中部における本種の分布の特性を示すこととなり、京都府の中でも甲虫全体の調査が十分でない北部や中部の地域について、より精度の高い分布調査の必要性を改めて認識させられた思いである。

## 謝辞

本報告を発表するにあたり、齋藤琢巳氏(尼崎市)には南丹市園部町深山での採集情報をご教示いただき、標本貸出のご協力をいただいた。また、大阪市立自然史博物館学芸員の初宿成彦氏には収蔵標本のチェックと写真撮影のための標本貸出についてご協力をいただいた。さらに、倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士には原稿の校閲をしていただいた。ここに記して深謝する次第である。

## 引用文献

- 藤岡昌介・酒井 香, 2007. 日本産コガネムシ上科図説第2巻 食葉群 I. 173 pp. 昆虫文献六本脚, 東京.  
 福井県県民生活部自然保護課, 1999. 池田町: 橋俣. p. 436. 福井県のすぐれた自然動物編. 452 pp.  
 斉藤省吾, 2013. 長野県でオオダイセマダラコガネを採集. 月刊むし, (504): 44.

(2016年11月13日受領, 2016年12月21日受理)